

■第2回初級者セミナーQ&A（2026/1/20開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
1	Excel操作	複数のExcelを比較し、システムに流し込めるデータの作成をRPAで行っていますが、本セミナーで紹介の「自動記録」は活用できますか。	データをシステムに流し込む部分については、「自動記録」が活用可能です。 Excelの比較については、 Excelから取得した値を変数に格納し、「条件分岐」ノードを用いて比較します。 複数のExcelからデータを取得するには「Excel操作(値の取得)」ライブラリ(※)をご利用いただけます。 > [18_Excel関連]－[Excel操作(値の取得)] ※類似ライブラリで「Excel操作(値の取得2)」があり、セル位置を行と列で指定するものもあります。 また、WinActorのトップ画面には学習用シナリオをご用意しており 2つのExcelから算出した結果を新規Excelに出力するシナリオもあります。 >業務シナリオ「18_2つのExcelから算出した結果を新規Excelに出力」 今回のご要望に近い内容ですので、ぜひご参照ください。
2	Excel操作	複数のデータをExcelから別のExcelに転記する際、現在「エミュレーション」で「Ctrl+C」「Ctrl+V」で貼り付けていたのですが、ライブラリで転記する方法はありますか？ 「値の取得」⇒「値の設定」では1つの値しか選択できず、複数の値を一度に転記したいです。 また、転記したいデータは行/列が毎回決まった位置ではないため、変数で指定する必要があるかと思えます。	転記元で「Excel操作(範囲指定コピー)」を用いることで一定範囲のデータをコピーすることが可能です。 転記先へ「Excel操作(範囲指定貼り付け)」でペーストすることが可能です。 転記位置が毎回決まった位置でない場合は、位置を変数で指定する必要があります。 位置を特定する方法としては 「Excel操作(検索一致)」でデータの始点を探し、 「Excel操作(最終行取得)」でデータの終点を探すといったアプローチが考えられます。
3	Excel操作	Excelでアクティブセルの位置を移動させるライブラリはありますか？ 現在は、ブチライブラリの「ExcelファイルでアクティブセルをA1セルに移動するライブラリ」を使用して、A1に移動させて、エミュレーションで「Right」や「Down」を組み合わせて移動させているのですが、移動に時間がかかってしまっています。	カーソル位置を移動させるライブラリは、[18_Excel関連]－[11_カーソル操作]にライブラリがあります。 移動したいセルの位置を設定でき、カーソルを移動することが可能です。
4	Excel操作	Excelからデータベースへ転記する際に、転記元Excelの行・列追加やセル結合などでセル番地が変わっても正しく転記できる方法がありますか？ (固定セル参照ではなく、項目名などで自動判定して転記する方法があれば教えて頂きたいです)	Excelデータの行や列が可変になっている場合、転記対象の位置を特定する仕組みを作る必要があります。 1つの方法として「Excel操作(検索一致)」ノードを使い、 データの見出しとなる文字列を検索して、転記位置を特定する方法があります。 例) "住所"という見出しを探し、その1列右隣のセルのデータを取得するといった使い方が可能です。 本セミナーでご説明のデータ一覧では、 列名(1行目の見出し)をキーとしてデータを扱うため、行や列が追加されるなどして順番が入れ替わっても一行目の見出しさえ変わっていなければインポートして転記することができます。 詳細は配布資料をご活用いただければ幸いです。
5	Excel操作	Excelで、例えば「セルの書式設定」ウィンドウを開く処理を実行しようとしたときに、処理が重くてウィンドウが表示されず、次の「セルの書式設定」での操作ができずにエラーが出てしまうことがあります。ウィンドウが開かなかった場合、もう一度「セルの書式設定」ウィンドウを開く処理を実行するにはどうすれば良いでしょうか？	まず前提として、Excelが頻繁に固まる状態ではWinActorからの操作自体が受け付けられなくなるため、不要なExcelファイルを閉じる、シナリオ実行前にExcelを再起動するなど、Excelが安定して動作する環境を整えることが重要です。 そのうえで、「セルの書式設定」ウィンドウ表示を待つ対策として以下の方法があります。 ①表示まで待機する 「ウィンドウ状態待機」や「指定時間待機」配置し、ウィンドウが表示されるまで待機します。 ②表示されているか確認して次に進む 「画像マッチング」や「ウィンドウ状態待機」でウィンドウの存在を確認し、 表示されていない場合は再度ウィンドウを開く処理を実行するなどのリトライ処理を組み込むことも有効です。 また、値の表示形式(文字列や日付)の指定であれば、「Excelの書式設定」での設定することができます。

■第2回初級者セミナーQ&A（2026/1/20開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
6	データー一覧	データー一覧へのインポートもRPA動作の中で自動実行する方法はありますか。手動でインポートが必要ですか。	WinActorの起動オプションを利用することで 手動で「データー一覧」へのインポートをせずにシナリオを実行することが可能です。 WinActorの起動オプション「-d」を利用することで、 起動時にデーター一覧を指定してシナリオを自動実行できます。 詳細は「操作マニュアル」の「2.1.3 WinActorの起動オプション」をご参照ください。
7	ファイル操作	フォルダへのファイルの格納をトリガーにシナリオ実行を開始することは可能ですか。	可能です。「操作マニュアル」の「3.9.12 イベント一覧タブ画面」をご参照ください。
8	UI操作	画面のスクロールはマウスホイール操作のみですか。	スクロールはキーボードで操作する方法が一般的です。（PageDown、PageUp、↑、↓など） ※[12_マウス関連]にて、マウスホイール操作を行うライブラリも同梱ライブラリに用意されています。
9	UI操作	Javaで開発された画面で、値入力してもJava発火しないケースがあります。回避方法やベストプラクティスはありますか？	WebページのJavaScriptであれば、テキスト入力の完了を契機に処理が実行される場合があります そのようなケースではクリック操作のみでは JavaScript が動作しないことがあります。 この場合、WebDriverをご利用であれば「値の設定(入力再現)」を使用することで回避可能です。 ただし上記ライブラリは拡張機能をご利用の場合には使用できませんので、エミュレーションでの対応をご検討ください。
10	画像マッチング	画像判定のしきい値の設定について、現在何度か実行して結果を確認しながら値を決めています。 しきい値の決め方についてポイントはありますか？ また、画像判定とOCR判定が両方使える場面において、それぞれ適している場面があれば知りたいです。	画像判定では、しきい値の微調整よりも判定範囲に特徴的な図形や文字を含むように設定することが重要です。 しきい値を下げすぎると意図しない箇所でマッチングしてしまう可能性もあるため 確実にマッチする特徴を判定範囲に含めるように設定してください。 画像判定とOCR判定では、画像判定を使われた方が良いケースが多いですが 可能であれば両方をお試しいただき、より安定する方をお選びください。 画像判定：画像の色が安定している画面 OCR判定：画像の色や形が変化する可能性がある画面（ダークモード／ライトモードが切り替わる場合など）
11	OCR	画像PDFから文字を取得する際にOCRマッチングを利用しようと考えているのですが上手くいきません。 他に画像PDFから文字を取得する方法はあるのでしょうか。	画像PDFから文字を取得する方法として、 WinActor Eyeに内蔵されているMicrosoft OCRを利用し、文字認識を行う方法があります。 ただし、Microsoft OCRは日本語・手書きの精度に課題があり、 お客様の期待される精度に届かないケースも多くあり実運用での利用はあまり推奨しておりません。 そのため、画像PDFから安定して文字を取得する場合は、 専用の AI-OCR サービスと組み合わせて利用されているケースがほとんどです。 将来的には、近年急速に発展している生成AIサービスにおいてPDFの文字起こし機能が提供されれば、 v7.6 から実装された生成AI連携機能を活用することで、WinActorと生成AIサービスを組み合わせた実現が期待されます。
12	XPath	XPathを設定したクリック操作を行った際に、エラーは発生せず、ライブラリの処理が終了したが、実際の サイト上の画面ではクリック処理が出来ていない(動きがない)ことがあります。 同じXPathで「値の取得」を実行すると、クリックしたい場所に記載の文字列が変数として取得できるため、 XPathが間違っているわけではなさそうです。 この事象は操作対象サイト側が原因でしょうか。その場合、利用ノードはエミュレーションや画像マッチングでの代用になりますか？	Web ページの JavaScriptではテキスト入力の完了を契機に処理が実行される場合があります、 そのようなケースではクリック操作のみでは JavaScript が動作しないことがあります。 この問題であれば、以下の対処で回避できます。 WebDriverで操作している場合：「値の設定（入力再現）」の利用をご検討ください。 拡張機能で操作している場合：エミュレーションや画像マッチングなどの代替手段で回避をご検討ください。 （拡張機能では「値の設定（入力再現）」は利用できないため）

■第2回初級者セミナーQ&A（2026/1/20開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
13	XPath	表形式のWebページ画面で、特定の条件を満たした行の入力欄にデータを投入したいです。 行内の複数の項目（A,B,C）についてそれぞれ値を取得し、これらを手元の値セット(A',B',C')と比較して合致していればその行の入力欄に所定の値を投入します。 合致しなければ次の行について比較します。 これを合致するものが見つかるまで上から順に繰り返します。 このようなシナリオは作成可能でしょうか？	ある行の対象項目（A,B,C）をそれぞれXPathで指定することが可能であれば、XPathを合成（動的に生成）することでシナリオを作成できる可能性があります。 例えばXPath中に表の行を表す数値がある場合（例：…/tr[1]/… の [1] 部分）が含まれる場合、この行に相当する[1]の部分を「変数」で切り替えられるようにして、XPathを合成することで順番に「取得→比較→入力」の処理を行うイメージになります。 （XPathの合成には「文字列の連結」ライブラリが便利です。） なおセミナー会場でのQ&Aの通り、IE（EdgeのIEモード含む）はXPathで画面要素を管理する方式ではありません。 idやnameなどの利用可能な属性の組み合わせで対象項目が指定できるかどうかご検討ください。（※） ※[04_自動記録アクション]－[文字列設定（IE）]を使用
14	トラブルシュート	拡張機能利用時に、時々「ブラウザとの通信に失敗しました」というエラーが発生します。 毎回発生するわけではなく、「昨日は問題なく実行出来たが、今日はエラーが発生した」「エラーが発生しても、1度シナリオを停止して、再度シナリオを最初から実行すると問題なく実行できる」等、発生条件が不明瞭です。 「ブラウザとの通信に失敗しました」の主な原因というものはあるのでしょうか。また、安定して実行出来るような設定、シナリオの組み方などはあるのでしょうか。	拡張機能利用時の「ブラウザとの通信に失敗しました」エラーについては、以下の対処をご検討ください。 ・処理開始前にブラウザを一度終了して、毎回同じ状態になるように調整する ・定期的にブラウザのキャッシュを削除する ・WinActorのシナリオにエラー時にリトライ処理を追加する 【補足：原因について】 ブラウザ拡張機能を使用して自動操作する場合、ページロード完了後にページ内部で通信機能が動き始めます。 この通信開始までに想定外に時間がかかり、所定の時間内に通信が確立できずエラーになることがあります。 例えばJavaScriptを大量に含むページで読み込みに時間がかかる場合や ページキャッシュが逼迫し整理を始める場合などブラウザの内部状態によって不安定になることがあります。
15	トラブルシュート	クリックのノードを利用してシステムの操作を行っています。弊社で利用しているシステムの更新があった際に、一致するウインドウが存在しませんでした、といったエラーが高頻度で発生します。今回教えていただいたXPath操作で改善可能でしょうか。	本事象は、ウインドウ識別ルールに合致するウインドウが見つからなくなったことが原因です。 システム更新により、ウインドウタイトルの文言などが変更された結果、従来の識別ルールに一致しなくなるケースがよくあります。 そのためまずはウインドウ識別ルールの緩和をご検討ください。 識別方式を「一致する」で指定している場合は、「を含む」に変更するなどの調整が有効です。 例) ウインドウタイトルが 「勤怠管理システム v1.3.0」から 「勤怠管理システム v2.0.0」に変更された場合、 識別方式を「を含む」に変更し、 識別文字列を「勤怠管理システム」とすることで、 バージョン更新の影響を受けにくくなります。
16	トラブルシュート	MicrosoftEdge起動のライブラリでサイトを表示させた後、ウインドウ状態待機を置いているのですが、待機せずに次のフローに移動してしまうことがあります。どのような条件でこの挙動が起こっているのでしょうか。	例えばウェブブラウザの場合、ブラウザ自体の「表示完了」しか検知できず、JavaScriptによるページ構築中といった内部処理は考慮されないまま「表示完了」と判定され、次のフローに進むことがあります。 そのため、ページ描画完了を待ちたい場合はウインドウ状態待機に加えて最後に描画されるボタンの存在有無を確認したり、処理の待ち時間を十分に設定するなどの対応が必要となります。
17	トラブルシュート	Excelのデータを印刷する際に、エミュレーションで「印刷」を押したり、ライブラリでExcelファイルを印刷できるものを使用したりしても、時々印刷できないときがあります。 プリンターは特に問題ないため、処理が重いからかと思うのですが、「印刷できなかった場合にはもう一度印刷処理を実行する」にはどうすれば良いでしょうか？	印刷できなかった場合にもう一度印刷処理を実行する場合は、プリンターキューの状態（印刷予約が無い、異常終了している など）を確認し、印刷を再実行する設計になります。 具体的には「net print」コマンドなどでプリンターキューを確認するイメージです。 なお、リトライ処理の前に印刷失敗に対する根本原因への対処を行うことをおすすめします。 ・印刷予約が存在せず、そもそも印刷処理が実行できていない場合 →印刷処理の前後に待機を入れるなど、処理タイミングの調整を行う ・キューが異常終了している場合 →プリンタードライバーの更新やプリンター側の設定見直しを行う

■第2回初級者セミナーQ&A（2026/1/20開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
18	運用	他の人へシナリオを共有する方法を知りたいです。先ほどのシナリオファイル呼び出しを使うのでしょうか。	はい、「シナリオファイル呼び出し」は共有方法として適切です。 ファイルパスを指定して呼び出す仕組みのため、シナリオを修正した場合もシナリオファイルの差し替えが不要で、常に最新の内容を実行できます。
19	運用	業務効率化のためシナリオ作成を分からないながらに進めています。シナリオ作成に躓いたときに質問できる場所がありますか。	シナリオ作成でお困りの点がありましたら、まずはWinActorをご購入された販売店様へご相談ください。 あわせて、WinActor公式サイトではナレッジも公開しています。 シナリオの書き方やライブラリの使い方をご紹介するためのサンプルシナリオや、少し複雑なちょっとした処理をシナリオに簡単に組み込めるようにするライブラリを提供していますので、ぜひご参照ください。 https://winactor.biz/knowledge
20	運用	業務フロー、シナリオフローを作成する際のテンプレートは配布されていますか。	テンプレートの配布ではありませんが、業務フロー・シナリオフローの整理例として「作ろう！ハンズオントレーニング」資料の以下ページが参考になるかと思います。 ・業務フローについて(P26) ・シナリオフローについて(P33,P65) https://winactor.biz/docs/JP_Ver761_Hands-On_Training.pdf
21	運用	シナリオの引継ぎに役立つ機能はありますか。	以下機能が引き継ぎに役立ちます。 ・付箋機能 シナリオの補足や業務ルールを付箋でメモすることができます。 「なぜこの処理をするのか、どのような理由なのか」といった注意点や補足説明に役立ちます。 フローチャートで右クリックし「付箋」を選択することでお使い頂けます。 ・ノードのグループ化 ノードを処理単位でグループ化すると、全体構造や流れの把握に役立ちます。 ノード一覧の「グループ」ノード、または部品を右クリックして「グループ化」から利用できます。 ・ノード／ライブラリ名の変更 具体的な処理を表す名称にノード／ライブラリの名称を変更することでその部品の役割や取り扱うデータがわかりやすくなります。 例) 「値の設定」→「住所コードの設定」 ・ドキュメント生成(html) シナリオの簡単な説明のページ(html)を出力することができます。 WinActorの「ファイル」メニュー>「エクスポート」>「ドキュメント生成(html)」からご利用いただけます。
22	セミナー	対面での講習会開催予定などがありますか。	現時点では開催予定はございませんが、ご要望をふまえて検討いたします。ご意見いただきありがとうございます。